

第2回

横越村景観再発見事業

最優秀賞は本間一人氏



慎重な審査をお願いしますとあいさつする浅見村長

昨年に引き続き、四季折々美しく移り変わる横越村の景観を、見つめ直してもらおうと企画された、第二回横越村景観再発見事業の応募作品が村内外より写真部門を初めてする力作、三百八点が寄せられました。

この作品の審査会が、新春の一月十日役場中会議室を会場に開催されました。

作品の審査に当たっては、各界の専門的立場から、写真部門では、写真家の弓納持福夫先生、絵画部門では、新潟市美術館長の林紀一郎先生、文芸部門には、俳句に郷沢室一先生、短歌に塩井三作先生、川柳に大野風柳先生をお願いし、主催者側として、浅見村長外、五十嵐農協組合長、野村商工会長、田村文化協会長、北方文化博物館榎本部長等の多士済々のメンバーで慎重に



どれに決めようか。真剣な審査風景

審査の結果、次の通り入賞作品が選定されました。入賞作品は二月一日から北方文化館屋根裏ギャラリーで公開されるほか、今後、村の観光宣伝にも広く活用させていただきます。

- 〔写真部門〕
 - ・最優秀賞 本間一人 (横越村)
 - ・優秀賞 坂井吉司 (新潟市)
 - ・優秀賞 佐藤伸 (亀田町)
 - ・金賞 佐藤守 (新潟市)
 - ・市村文雄 (横越)
 - ・長北智子 (新潟市)
 - ・富士フイルム賞 砂原信子 (新潟市)
 - ・新潟フジカラー賞 渋谷浩美 (二本木)
 - ・入選 田村忠雄 (藤山)

- ・野瀬山信夫 (沢海)
- ・阿部修一 (横越)
- ・市村文雄 (横越)
- ・佐藤宗晴 (新潟市)
- ・村山雅人 (新潟市)
- ・星正一 (加茂市)
- ・渡辺孝二 (豊浦町)
- 〔絵画部門〕
 - ・(応募7名・12点)
 - ・優秀賞 市村和夫 (水原町)
 - ・金賞 五十嵐勝弥 (横越)
 - ・入選 高橋達夫 (横越)
 - ・谷井越子 (横越)
 - ・阿部兵一 (駒込)
 - ・佐々木一 (新潟市)
 - ・青木寅吉 (新潟市)
 - 〔文芸・俳句部門〕
 - ・(応募11名・66点)
 - ・優秀賞 坪谷雅博 (木津)
 - ・金賞 小林一磨 (二本木)
 - ・入選 高橋守利 (横越)
 - ・谷井信雄 (横越)
 - ・坪谷徳一 (木津)
 - ・田村清次郎 (横越)
 - 〔文芸・短歌部門〕
 - ・(応募12名・80点)
 - ・優秀賞 田村忠雄 (藤山)

- ・金賞 南場愛子 (亀田町)
- ・入選 坪谷雅博 (木津)
- ・佐藤ユリ (横越)
- ・田沢朱美 (横越)
- ・野村清次郎 (横越)
- 〔文芸・川柳部門〕
 - ・(応募5名・33点)
 - ・金賞 河内幸子 (横越)
 - ・入選 渡辺孝二 (横越)
 - 〔文芸・詩部門〕
 - ・(応募2名・2点)
 - ・入選 井越忠夫 (新潟市)

第2回横越村の景観再発見事業

発表展示会

■期日 1992年2月1日～2月29日

■会場 北方文化博物館 屋根裏ギャラリー

■時間 9:00～16:00

屋根裏ギャラリーの見学だけならば入館料はいりません

救急車出動状況

◆12月の出動件数 12(89)

主な出動原因	交通事故 7(31)
	一般負傷 2(17)
	急病 3(41)

() は4月以降の累計

納期までに忘れずに納めましょう

2月の納税

国民健康保険税 6期 (2月分) 4期

国民年金保険料 11期 (2月分) 4期

下水道受益者金 下負担

固定資産税台帳を閲覧します。村では、平成4年度分の固定資産(土地・家屋・償却資産)の価格などを課税台帳に登録しました。次により縦覧致しますので、ご自分の固定資産の価格などをお知りになりたい方は、おいで下さい。

なお、縦覧できる人は、所有者とその家族、納税管理人、代理人(所有者の委任状が必要)です。(に限られます。)

とき 三月一日(二十日(日曜日・祝日及び第二土曜日を除く))

午前八時三十分～午後五時

土曜日は、正午まで。

・ところ 横越村役場税務課

建設工事入札結果

1.工事名	横越勤労者体育センター外構工事
2.工事場所	二本木本地内
3.入札月日	4. 1. 13
4.入札業者	9 業者
5.落札額	1, 140万円
6.落札者	(株)阿部組
7.工期	4. 1. 13～4. 3. 22

参加申込先

〒02北蒲原郡紫雲寺町大字 藤塚浜宇海老池 新潟県愛鳥センター紫雲寺 さえずりの里

Tel.0254-41-4500

申込方法 ハガキに住所、氏名、電話番号及び自家用車利用の場合、その旨を明記して2月16日まで

瓢湖探鳥会及び野鳥保護の集い

日時 二月二十三日(日)午前10時から午後三時迄

場所 (1)探鳥会 瓢湖 (2)野鳥保護の集い 水原町福祉会館

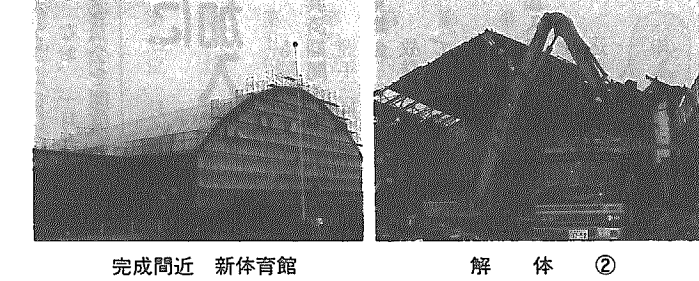
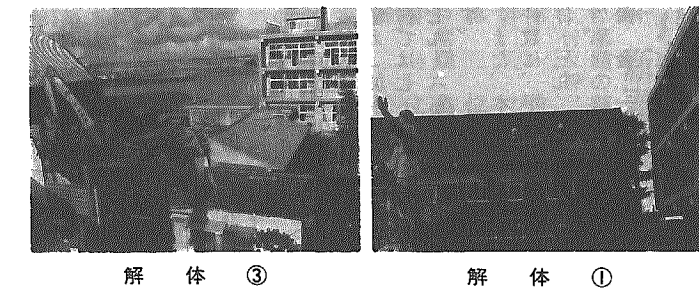
「なんでも相談」のご利用を

2月20日(木)

午前9時～午後4時 役場村長室

おつかれさま 旧中学校体育館

昭和29年3月から38年間の歲月 6,250人の卒業生の思い。今、解体...



私が24才、大江山中学に勤務していた時、生徒を引率して野球、バレー、陸上などの体育行事で横越中学校にきた時、立派な体育館だなぁという印象をもちました。

ところで、人間には、休みがあるが、一年中休み、これほどよく使った体育館はない。

時には、雨もりがあつたりボールがはずまなくなつたり限界ぎりぎりまで38年間、働いてくれた体育館に本当にありがとうといいた。

中学校時代、恩師である佐々木先生と共に毎日バスケットボールに明け暮れた体育館。県大会上位入賞を目指し、午前、午後と2部練習をした。決して楽な練習ではない。OBもきてくれハードな練習になる。

しかし、昼休み、体育館中央の出入口からどこからともなく吹いてくる風が、非常に爽やかに感じられた。

疲れているせいだろうか。まわりが田んぼだからであろうか。

目黒三作殿にお願いし、堀内敬三先生に決まった。29年2月、校歌が完成し発表会は、3月2日という連絡がはいつたが、体育館は、未完成、せめてステージだけでも使用可能にと村当局にお願いし、無事校歌を全校生徒、職員、父兄参加のもとに発表会を挙げて、それが鮮明に印象に残っている。そして、体育館は、3月17日に竣工した。今や、この体育館も新旧交代するということ、往時を偲び思い出の一つである。

はあなたの献血キャンペーン

あなたの善意のために

社会的な役割を

役立てよう

現在、血液製剤のうち、輸血に使われる全血製剤と血液成分製剤は、国内の献血で賄われています。

しかし、血液の成分の一つである血しょうからつくられる血しょう分画製剤については、そのほとんどを海外からの輸入に依存しているのが現状です。

これには、安全性や安定供給

給の面などで問題があり、献血による国内自給が叫ばれています。

血液は、人工的につくられません。ですから、もっと多くの方に献血に協力していただきたいのです。

特にこの時期は、寒さや降雪のために献血する人が減ってしまい、一時的に輸血用の血液が不足することもあります。

病気がけがで苦しんでいる人のために献血をする。それは、単に血液を提供するだけでなく、あなたの善意を広く社会のために役立てるということでもあります。

はたあなたもぜひ献血にご協力下さい。



裸電球が蛍光灯になつても雨もりがして、ぶよぶよの床あのポロ体育館でもバスケットボール部にとつては、かけがえのないものであった。

大勢の汗と涙がしみこんでいる。多くの名選手が巣立っていった。

なつかしく思い出深い体育館が消えていく。

たださみしく思う。

昭和28年、体育館新築の計画があり、会でも記念事業として校歌を制定しようと総会で決めた。

ところで、校歌の作詞、作曲者の選定にあたり、沢海出身で「音楽の友」社、社長、

昭和63年8月で卒業30年を迎え、記念の同期会を開催しました。学舎中学校は体育館のみが往時の姿を残し、県外等で活躍する仲間にとって、30年振り目にする体育館には痛く感動、感激したようである。

38年間風雪に耐え、威風堂々幾多の生徒を育ててきた思い出多い体育館、その体育館も、ついに取崩し改築となつた。

一つの時代の終焉を迎えたようである。

何か一抹の寂しさを感じる。

献血にご協力を 2月5日(水)

午後11時30分～午後0時40分 山崎製パン(株)新潟工場

中学校体育館の思い出